

講座 10-A		水系と都市 〈 日本編 〉				オンライン併用
		【会場定員】 150名      【オンライン定員】 100名      【受講料】 2年会員5,720円      1年会員6,435円      聴講生8,580円				
		『エクセレント』エクセレントⅢ      【時 間】 毎回 13時30分～15時00分      (計6回)				
概要		海・潟・池・川・運河などの水の空間に加え水循環や物流システムを取り上げ、水と結びついた都市（集落）の景観、産業構造、生活スタイル、さらには人々の信仰心、感性にまで及ぶ多様な内容を、国内外の様々な事例とともに時代による変遷を通して解き明かす。本講座は、日本編として、東京、愛媛、神奈川などを対象とする。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)		
A 前半講座 へ日本編	1	10/ 3(火)	東京は世界に冠たる水都と言えるのか？	法政大学特任教授      陣内 秀信		
	2	10/17(火)	雨と地下水から読み解く水都の源流～東京の水系と水循環	法政大学江戸東京研究センター研究員      神谷 博		
	3	10/31(火)	庭園都市・江戸を読む～大名の庭と水の供給システム	法政大学助手      内藤 啓太		
	4	11/ 7(火)	川から読む愛媛県大洲～舟運、産業・経済、文化、景観	一般社団法人キタ・マネジメント建築文化研究所長 ディエゴ・フェルナンデス		
	5	11/28(火)	日本の都市に宿る水の神々～島原・大坂・江戸を例に	法政大学教授      高村 雅彦		
	6	12/ 5(火)	横浜と川崎の水から見た都市と地域の空間構造      **遠隔講義	秋田公立美術大学助教      石渡 雄士		
連絡事項		「**遠隔講義」とは講師の先生はご自宅等からオンラインでご講義くださり、会場でご受講の皆様にはスクリーンでご受講いただきます。				